



平成 29 年 2 月 21 日

平成 28 年度学校評価の総括

ご多用な中、保護者の皆様には本年度も 2 回、本校の教育活動について評価していただき、誠にありがとうございました。

お寄せいただきました評価については、教職員で再度話し合いをし、次年度の取組に生かしていきたいと考えています。貴重なご意見、本当にありがとうございました。

H 28 年度の本校の学校教育目標 『一つ上の自分に！』～笑顔あふれる弘道っ子～
そのために大切にすること（基本方針）

あたまの力

こころの力

からだの力

支援の要らない子は一人もいない（特別支援教育の充実）

歴史あるふるさと出石に誇りをもち、「出石が大好き」な子どもの育成

いのちを大切に安全・安心な取組の実施と教育環境づくり

保護者や地域から信頼され、支えられる学校へ（内外に学校を開く）



保護者の皆様の評価と教職員がこの項目に対してどの程度指導できたか自己評価したものを比較してみました。

	評価項目 4...そう思う, 3...だいたいそう思う, 2...あまりそう思わない, 1...思わない	保護者 平均	学校(教職員) 平均
1	学校は、基本的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。	3.3	3.0
2	学校は、子どもの興味や意欲を高める授業を工夫している。	3.3	2.9
3	学校は、児童一人一人の個性を理解し、豊かな心を育む教育を大切にしている。	3.1	3.2
4	学校は、いじめのない学級づくりや人権意識の育成に取り組んでいる。	3.0	3.2
5	学校は、相談事に対して、面談や相談等の場を設けて適切に対応している。	3.2	3.3
6	学校は、出石の歴史・伝統文化・自然環境と直接にふれ合う体験活動を展開している。	3.5	3.4
7	学校は、防犯・防災・生活指導の中で、自らの命を守る安全教育をすすめている。	3.2	3.1
8	学校は、家庭・地域と連携を密にしている。	3.2	3.1
9	学校は、学校・学級だよりやブログ等で教育活動や子どもの様子を情報発信している。	3.5	3.6
10	わが子は、家庭や地域でのあいさつができています。	3.0	3.5
11	わが子は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いています。	3.1	3.2
12	わが子は、学校のきまり（弘道っ子のくらし）をしっかり守って生活しています。	3.1	3.3
13	わが子は、家庭学習をすすんで取り組んでいる。	2.9	2.9
14	わが子は、家庭内ですすんで本を開き、読書に親しんでいる時間がある。	2.6	2.7
15	わが子は、楽しく学校生活を送っている。	3.4	3.3

保護者の皆さんの評価と教職員の自己評価と大きく差があるのが、「あいさつ」でした。学校の先生だけにあいさつするのではなく、地域の方はもちろん、誰にもあいさつできるようにしようと常に指導しています。しかし、なかなかできていないのが実態です。今後も、あいさつの意味、あいさつの大切さについて丁寧に指導していく必要があると考えています。

大きな課題は、家庭学習と家庭での読書です。家庭学習は出石地域全体の取組として、学年×15分を目安としています。そのくらいの時間になるよう宿題も出すよう心がけています。また、高学年では自分から学習する習慣をつけるため自主学習にも取り組んでいます。読書は、学校では読むが、家庭では読まないという傾向が続いています。PTAと連携し、家庭読書の日の設定等、取組を強化していく必要があると考えています。

【お寄せいただきました主なご意見】

先生方もお忙しいと思いますが、2学期中にも学級懇談会があれば、先生もまじえ、保護者同士で交流がもてるのでは...と思います。

女子の服装が華美に思います。制服(上着だけでも)にすべきです。

クラス女子同士の嫉妬を生むようないじめに似た状況がある。はっきりとだめなことはだめ、謝ることをさせてほしい。

ブログで活動、子どもの様子を発信していただきよく拝見しております。警報などの登校有無のお知らせは他校で活用されているメールサービスがあればと思います。



学校から返信・・・

懇談会の件、制服の件については、PTAの役員の方々とも検討してまいります。

いじめは絶対許さない!という毅然とした姿勢で指導してまいります。お気づきなことがあれば、すぐ学校に連絡ください。よろしく願います。

メールサービスについては、学校としても必要を感じています。ただし、経費が必要ですので、PTAの役員の方々とも協議していきたいと思っております。

3年生 たくあん漬け体験 終了!

3年生が総合的な学習の時間で、『ふるさと発見!出石の魅力(自慢)を伝えよう』と、「ひと」「もの」「こと」に着目し取り組んでいます。

その1つとして、たくあんの名前の由来となった沢庵和尚さんが出石におられたこと、そのお寺である宗鏡寺があることから、県立但馬農業高等学校の高校生の方々と協力しながらたくあん漬け体験を実施しました。

11月24日に大根干し、12月15日に漬け込み、そして、先日2月16日(木)に完成したたくあんの試食を行いました。

小原住職様からは、「どれひとつ同じものがないものをいのちということ。私たちはそのいのちをいただいていることを忘れないようにしてほしい。」という話をお聞きしました。

大人になってからも、たくあんを食べるたびに、出石のことを思い出すことになればと思います。

